

令和4年度

「大分県公共施設等総合管理指針」の  
進捗状況について

令和5年7月  
大分県総務部県有財産経営室

# 大分県公共施設等総合管理指針（H27策定）の概要

## 公共施設等の状況

### I) 県有建築物

#### □ 主な施設

- ・県立学校施設 : 約76万3千㎡ (約34%)
  - ・県営住宅 : 約58万㎡ (約26%)
  - ・庁舎等 : 約14万2千㎡ (約6%) など
- 総延床面積 : 約222万㎡ (令和元年度末)

#### □ 老朽化の状況

- 築30年以上: 約58% (令和元年度末)
- 10年後には全体の9割弱の約86%の施設が築30年以上経過

### II) 公共インフラ施設

#### □ 主な施設

- ・橋梁 2,545橋
- ・トンネル 259箇所
- ・治水ダム 7基
- ・農業用ダム 25基 など

#### □ 老朽化の状況 (橋梁の例)

- 架設後50年以上: 約37% (令和元年度末)
- 10年後には全体の半数を超える約56%の橋梁が架設後50年以上経過

### III) 公営企業施設

#### □ 主な施設

- ・企業局: 水力発電所12箇所など
- ・病院局: 病院本館など

#### □ 老朽化の状況

- ・企業局 (水力発電所の例)
- 築50年以上: 約67% (令和元年度末)

## 策定趣旨

- 施設の老朽化
- 厳しい財政状況
- 人口減少の進行



公共施設等の計画的管理の基本的な考え方・方針を示す (H27年度から令和6年度までの10年間)

- ・施設保有のあり方
- ・長寿命化の方針
- ・機能発揮の方針 など



- 財政負担の軽減、平準化
- 施設の長寿命化

## 基本方針

### I) 県有建築物

#### ① 施設総量の縮小

施設の用途廃止や集約化により総量を縮小

#### ② 施設の長寿命化

計画的に保全を行う予防保全型維持管理により主要な施設を長寿命化

#### ③ 管理体制の一元化

知事部局、教育庁など所管ごとに管理体制を一元化

### II) 公共インフラ施設

#### ① 必要性の十分な検証

必要性や費用対効果等を十分に検証し更新が不要な場合は廃止

#### ② 機能の確実な発揮

点検等に基づき施設に優先順位を付け予防保全型維持管理により長寿命化

#### ③ 施設情報の一元化

点検結果や補修工事等の情報を一元的に管理し、次回の点検・補修等に活用

### III) 公営企業施設

県有建築物及び公共インフラ施設の基本方針を参考に、各公営企業が策定する個別施設計画の中で、計画的な施設管理

## 進捗管理

- 基本方針に基づく取組を全庁的な認識のもと推進するため、県有財産利活用等検討委員会において進捗管理を行う。

## 令和4年度「大分県公共施設等総合管理指針」の進捗状況(主な取組)

### I 県有建築物

①	施設総量の縮小	行財政改革等により廃止した施設については、民間への売却等により処分。 (△35棟、△2千㎡、△0.1%) 新たな施設の整備を行う場合、民間活力の導入を検討。【取組の紹介 I ①】
②	施設の長寿命化	施設の点検を着実に実施するとともに、使用頻度の高い中核的施設については、施設の損傷が顕在化する前に計画的な保全を行う 予防保全工事を実施。【取組の紹介 I ②】 (予防保全工事の実施状況) 知事部局(27施設)、教育庁(14施設)、警察施設(8施設)、県営住宅(3施設)
③	管理体制の一元化	電力自由化に対応した電力調達の一括入札及び清掃業務委託の集約化を実施。【取組の紹介 I ③】

### II 公共インフラ施設

①	機能の確実な発揮	橋梁・トンネル(道路施設)など25個別施設計画にてインフラ毎の特性を踏まえ計画的な点検・診断により施設の劣化・損傷の度合いや原因を把握し、補修・補強対策の優先順位付けを行ったうえで、適切な時期に保全工事を実施。【取組の紹介 II ①】 (点検の実施状況【R4】) <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ダム(25箇所、進捗率100%〔毎年実施〕)</li> <li>・漁港海岸保全施設(8箇所、進捗率100%)</li> <li>・橋梁(495箇所、進捗率77.0%(2巡目 R1~R5))</li> <li>・トンネル(62箇所、進捗率80.4%(2巡目 R1~R5))</li> </ul> (補修対策の実施状況【R4】) <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ダム(1箇所、進捗率40.0%)</li> <li>・漁港海岸保全施設(0箇所、進捗率75%)</li> <li>・橋梁(53箇所、進捗率90.2%(H26~R5))</li> <li>・トンネル(8箇所、進捗率96.9%(H26~R5))</li> </ul>
②	必要性の十分な検証	費用対効果や周辺環境へ与える影響などを検証し、必要性を判断した上で新設・更新・廃止。【取組の紹介 II ②】
③	施設情報の一元化	点検・診断結果や補修工事の時期、工事内容などの施設情報の一元化を実施。

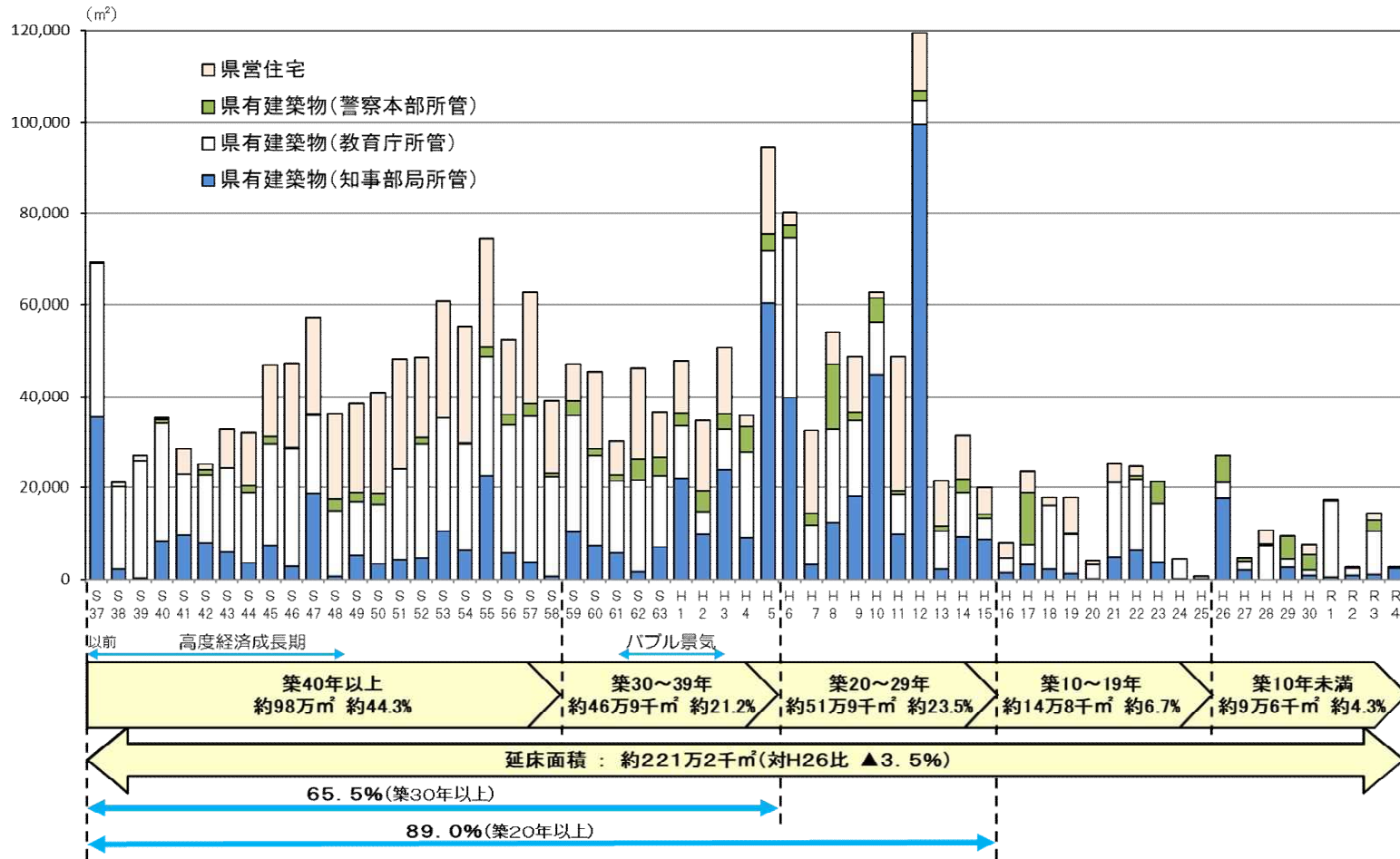
### III 公営企業施設

①	企業局	電気事業施設は、地震対策など経年施設の適切な点検・修繕・改良及び発電所のリニューアル工事を実施。 工業用水道事業施設は、地震(津波)対策など施設の適切な点検・修繕・改良及び給水ネットワークを用いた点検・補修を実施。【取組の紹介 III】
②	病院局	耐用年数を超過した重要設備(受水槽)の計画更新を実施。【取組の紹介 III】

# 取組の紹介 I) 県有建築物

## ① 施設総量の縮小

県有施設の延床面積の状況(令和4年度末)



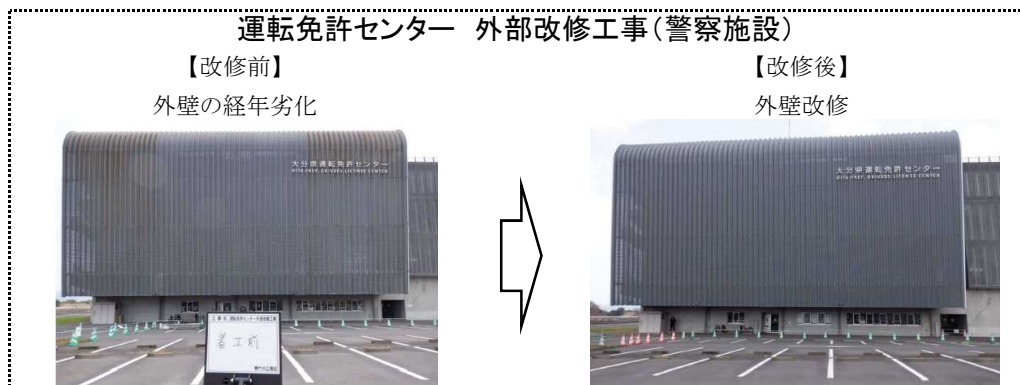
区分	R3年度末		R4年度増減		R4年度末		主な施設の新設	主な施設の廃止 (除却・売却等)
	棟数	面積(千㎡)	棟数	面積(千㎡)	棟数	面積(千㎡)		
県営住宅	443	582	0	0	443	582	—	—
警察本部	515	127	△4	0	511	127	—	旧飯田警察官駐在所(▲100.20㎡)
教育庁	1,640	878	△13	△1	1,627	877	—	宇佐教職員住宅(▲1,163.25㎡)
知事部局	1,169	627	△18	△1	1,151	626	種苗生産施設(2,096㎡)	旧内水面チーム施設(▲2,910.03㎡)
合計	3,767	2,214	△35	△2	3,732	2,212		

## 取組の紹介 I) 県有建築物

### ②施設の長寿命化

予防保全工事の実施状況(令和4年度)

区分	主な工事概要	施設数
知事部局	・別府国際コンベンションセンター 内部外改修工事 ・豊後大野総合庁舎 大規模改修建築工事	27
教育庁	・大分上野丘高等学校 内外部大規模改造工事 ・大分県立図書館 外部改修工事	14
警察施設	・運転免許センター 外部改修工事 ・大分南警察署 大規模外部改修工事	8
県営住宅	・県営明野北住宅 外壁・屋上防水改修工事 ・県営原住宅 屋上防水改修工事	3



### ③管理体制の一元化

電力調達の一括入札(R3.12入札実施)

対象施設	132施設 (庁舎等50施設、県立学校65施設、警察署等17施設)
入札	県有施設を14グループに分類し、一般競争入札を実施
節減見込額(率)	約303,217千円 (約 33.84%)

清掃業務委託の集約化

対象施設	45施設 (庁舎等45施設)
節減見込額(率)	約14,944千円 (約 12.32%)

取組の紹介 II) 公共インフラ施設(農林水産部)

①機能の確実な発揮

・点検の進捗状況

	点検頻度 (サイクル)	対象箇所数 (A)	区分	箇所数	進捗率 (B/A)
農業用ダム	管理者点検: 土地改良区が日常的に目視点検を実施 所有者点検: 県が管理者点検の結果に応じて詳細点検を実施	25	R4県点検実施数	25	100.0%
			H19からの県点検累計数(B)	25	
漁港海岸保全施設	5年	8	R4実施数	8	100.0%
			H27からの累計数(B)	8	

・補修等の進捗状況

	対象箇所数 (A)	区分	箇所数	進捗率 (B/A)
農業用ダム	25	R4実施数	1	40.0%
		H19からの累計数(B)	10	
漁港海岸保全施設	4	R4実施数	0	75.0%
		H27からの累計数(B)	3	

・県が行う詳細点検の実施状況



強度試験(シュミットハンマー)




中性化試験(ドリル法)



ひび割れ幅計測


・県が行う補修対策の実施状況

農業用ダム



臼杵市  
乙見ダム  
(余水吐ゲート)

対策: 改修



臼杵市  
乙見ダム  
(電気設備更新)

漁港海岸保全施設



国東市  
竹田津漁港海岸  
(護岸)

対策: 断面修復工




②必要性の十分な検証

・大分県事業評価監視委員会による事前評価の実施

事前評価: 新たに着手しようとする事業について県民ニーズや社会経済情勢に照らして必要性が高いか、事業手法や工法が妥当であるかの観点から、事業開始前に事業着手の適否に関する評価。  
大分県事業評価監視委員会: 学識経験者等で構成する第三者機関。

事業名	地区名	場所	対応方針
令和4年度 該当なし			

# 取組の紹介 Ⅱ) 公共インフラ施設(土木建築部)

## ①機能の確実な発揮

・点検の進捗状況(2巡目:R1~)

	点検頻度 (サイクル)	対象施設数 (A)	区分	施設数	進捗率 (B/A)
橋梁	5年	2,538	R4実施数	495	77.0%
			R4までの累計数(B)	1,953	
トンネル	5年	260	R4実施数	62	80.4%
			R4までの累計数(B)	209	

・補修等の進捗状況(1巡目点検で要対策となった施設)

	対象施設数 (A)	区分	施設数	進捗率 (B/A)
橋梁	417	R4対策完了数	53	90.2%
		R4までの累計数(B)	376	
トンネル	96	R4対策完了数	8	96.9%
		R4までの累計数(B)	93	

・点検の実施状況

**橋梁**  
国道326号(佐伯市)  
唄げんか大橋 ほか

ドローンによる  
損傷状況の把握

**トンネル**  
国道212号(日田市)  
ひびきトンネル ほか

トンネル点検車両による  
損傷状況の把握

・補修対策の実施状況

<p><b>橋梁(日田市)</b> 国道387号 川畑橋</p> <p>対策: 防護柵補修工</p>	<p><b>トンネル(杵築市)</b></p> <p>対策: ひび割れ補修工</p>
<p><b>橋梁(別府市)</b> 県道別府山香線 キスミレ橋</p> <p>対策: 塗装塗替</p>	<p><b>トンネル(津久見市)</b></p> <p>対策: 路面補修工</p>
<p><b>橋梁(宇佐市)</b> 国道387号 白岩橋</p> <p>対策: ひび割れ補修</p>	

## ②必要性の十分な検証

・大分県事業評価監視委員会による事前評価の実施

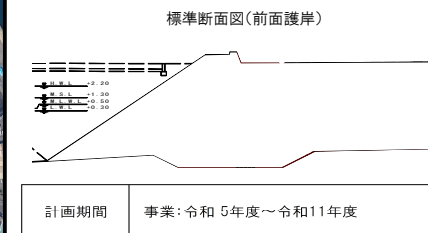
事前評価:新たに着手しようとする事業について県民ニーズや社会経済情勢に照らして必要性が高いか、事業手法や工法が妥当であるかの観点から、事業開始前に事業着手の適否に関する評価。  
大分県事業評価監視委員会:学識経験者等で構成する第三者機関。

R4年度 事業評価監視委員会における事前評価の実施状況

事業名	路線・河川・港・地区名等	場 所	対応方針
港湾機能施設整備事業	大分港 大在地区	大分市大字大在	事業実施
道路改築事業	国道387号 引治工区	九重町大字引治	事業実施

計 2事業 (道路1件、港湾1件)

代表事例  
港湾機能施設整備事業  
大分港 大在地区



## 取組の紹介 Ⅲ) 公営企業施設

### ○企業局

#### <電気事業>

- ・施設の点検・修繕・改良  
桑原北川線鉄塔化工事(第2工区)ほか
- ・発電所リニューアル  
別府発電所リニューアル工事(右写真)  
芹川第一・二発電所リニューアル工事(ほか)

【令和3年度】



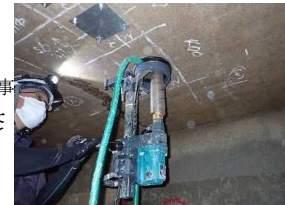
【令和4年度】



#### <工業用水道事業>

- ・施設の点検・修繕・改良  
大津留接合井及び大津留浄水場排泥層耐震化工事
- ・給水ネットワークを用いた点検・補修  
揚水隧道点検業務委託(右写真)

【コア削孔】



【中性化試験】



### ○病院局

- ・重要設備の計画更新  
受水槽(市水・井水)の更新を実施  
※浸水対策工事により高架化も併せて実施

【施工前】



【施工後】



【施工前】



【施工後】



【新設設備棟】

